

## 平成28年度 第1回理事会議事録

日 時 平成28年5月21日（土）13時00分～14時35分

場 所 北農健保会館会議室

出席者 近藤龍夫、嶋倉 昭、生島典明、渋谷研一  
大江憲一、黒田謙二、須田正毅、田中昌幸  
丸山道博、印藤智一、櫻庭功一、碓井喜晴  
佐藤敏夫、西谷清之、高橋克徳、関原榮司  
山内孝夫、奈良孝伸、武田和夫、大西能正  
大橋公徳、川村俊明、高坂 猛

### 1 開 会

○総務委員長が、理事30名中、21名の出席があり理事会は成立することを報告する。

### 2 会長あいさつ

○会長から次のとおり挨拶がある。

お忙しいところ出席いただきお礼。現在、オリンピック最終予選が行われており女子は出場権を獲得できそうだが、もっと楽に勝ってほしいものだ。28日から男子が始まるが出場権を獲得し、北海道出身選手を久しぶりに送り出したい。

今日の理事会、評議員会は押し返し地点の会議。財政等検討委員会からの提案をうけて新年度から新たなスタートを切るためにも、本日はよろしくお願ひする。

### 3 議事録署名人の選出

○会長が議長となり、議事録署名人に会長のほか奈良理事、櫻庭理事の2名を決定する。

### 4 協議事項

#### (1) 平成27年度事業報告及び決算書類等承認について

○評議員会資料に基づき、理事長が協会運営の基本方針に沿った各委員会の取組み結果について、各委員長が委員会事業について報告する。また、総務委員長が平成27年度一般会計決算・特別会計決算について報告し、すべて承認される。

なお、主な説明の内容及び質疑等は次のとおり。

##### ①事業報告関連

- ・倫理規定関連で残念ながら1件処分があり、9月と11月に委員会が開催されたほか現地での意見聴取も実施された。
- ・全日本9人制クラブカップ女子選手権大会は48チームが参加し成功裏に終了した。
- ・総合大会の6人制北大会は20チーム参加したが、大会マニュアルの作成により今後更なる運営を図る。
- ・日A級審判員資格取得講習に参加した唯野 勉氏（帯広協会）が即A級に、笹木宣拓氏・上総向貴氏（札幌協会）がA級候補に認定された。

- ・Vスクールを10月31日～11月1日に開催し伊藤日本協会指導副部長を招き有意義な講習を行った。
- ・アドバンスコースを6月13～14日に開催し大塚日本協会審判副委員長に指導いただいた。
- ・公認審判員基礎講座を2月21～22日に開催し受講者59名（講師20名）で研修を行った。
- ・JOCカップで男子が予選を突破し1回戦は惜敗した。
- ・高体連ブロック合宿を8月21～23日に開催し大竹秀之氏を講師に男女36名が参加した。
- ・国体は、少年女子が2回戦で敗退したものの他は1回戦敗退となつた。
- ・中学校選抜大会で久々に男子チームが1増となつた。

＜質 疑＞

- ・2020年オリンピック・パラリンピック合宿誘致で自治体が誘致を希望した場合、道協会の支援はあるのか。
- ⇒協力、応援はするが、誘致の仕組みは難しい。

②決算報告関連

- ・一般会計は前年度繰越金が784千円余あり、収入は予算比843千円余増の17,443,411円、支出は財政等検討委員会や倫理委員会等の開催により旅費が増、慶弔費が増、予備費がVIS用PC購入で増となつたが、大会費などの減で予算比98千円余減の支出総額16,501,231円となり、收支残の942,180円は平成28年度へ繰越す。
- ・特別会計は、財政調整基金が1000万円、特別事業等基金が函館Vプレミアリーグの寄付により1510万円となつた。強化・育成基金は3,592,787円を取崩し、11,615,261円が繰越しとなつた。

(2) 平成28年度一般会計予算補正について

○総務委員長が、ソフト連盟から道協会へ賦課金を納入したいとの申出があり、収入は賦課金に1,000円×126チーム分の126,000円を追加し総額を16,726千円に、支出は同額を予備費に計上して増額することを説明し、原案のとおり承認される。

＜質 疑＞

- ・ソフト連盟には何らかの支出があるのか。
- ⇒40万円助成している。

(3) 平成28年度特別会計予算（強化・育成基金）補正

○総務委員長が、3月理事会で設置承認したビーチバレーボール連盟から助成金交付申請があり、特別会計（強化・育成基金）から10万円を助成することを説明し、原案のとおり承認される。

＜質 疑＞

- ・強化・育成基金の活用は良いが、他団体と同様に一般会計で助成すべきでは。
- ⇒基金での支援は4～5年を目処と考えるが、検討委員会の提案を踏まえ検討する。

(4) 熊本地震被害県への義援金について

○理事長が、熊本地震で被害に遭われた熊本・大分両県バレーボール協会に対し、加盟団体とともに義援金を贈ることとする。その額は加盟団体が1口5,000円で、道協会が上置きして送ることを説明し、原案のとおり承認される。

## 5 報告事項

### (1) 年次別収支決算一覧について

○総務委員長が、前回理事会で要望があった年次別収支決算について、一覧表(H18~26年分)を配布し説明する。

#### <質 疑>

- ・平成25年度でMRSの配賦金が例年より50万円程多いのはなぜか。
- ⇒確認し、後日報告する。

#### (確認の結果)

従前は前年度の後期分(3月)と当該年度の前期分(9月)の合計額を報告していたが、平成25年度は13カ月の決算であるため、当該年度の後期分(3月)も加えていることから増となった。なお、現在は当該年度の前期及び後期の総額で報告している。

### (2) その他

- ①理事長が、『北海道ボレアス旭川』がVリーグ準加盟の手続きを進めていることを報告する。

#### <質 疑>

- ・道協会も支援が必要ではないか。旭川協会との関係はどのようにになっているのか。
- また、地域リーグからチャレンジリーグ、Vリーグと先に行くとありきにならないか。
- ⇒今後、法人と協議していくが、スタッフには、レバンガ、コンサドーレ、ファイターズなどで活躍した方がいると聞く。まだまだ課題はあるが、たくさんの女子チーム以降なかつた組織チームであり、最終実施計画が今後提出されるので経過を見守りたい。

- ・軽々には言えないが、ある程度結果を出してから支援ということになるのではないか。

- ②総務委員長が、「評議員及び役員(幹事・理事)のMRS登録のお知らせ」の資料について説明する

- ③競技委員長が、平成29年度の高校新人大会は釧路協会、平成29年度のクラブ会長杯及び平成30年度のクラブコカ・コーラ杯は深川協会が主管となることを報告する。また、全国クラブカップ6人制男子大会は旭川開催で調整していることを報告する。

※大橋理事(クラブ連)から、全国クラブカップに關し、アザレアカップ開催地の福岡県久留米市が平成30年度の6人制男女大会の同時開催を希望しており、6月4日の会議で調整予定とのことが報告される。

- ④佐藤理事(函館協会)から、ヴィンテージ8全国大会を9月30日~10月2日で開催するが、15コート分のスタッフ・審判員の確保をお願いする。なお、50代が40チーム、60代が20チーム参加する見込みであることが報告される。

## 6 その他

- ①オリンピック最終予選でチャレンジシステムとタブレットが使われているが、プレミアリーグでも使うのかとの質問がある。

⇒タブレットが今回初めて導入され、これまでラリー最後のプレーのみがチャレンジの対象だったが、ラリー中においても5秒以内でチャレンジが可能となった。しかし、タブレットを押しても感知しないトラブルが起きている模様。

▼機構はシステムが高価なためプレミアファイナルのライン判定でチャレンジシステムを導入することを検討している。国際大会はヘッドセットを装着し、レベルの高い英語の語学力が求められるため審判員は大変である。

②高体連の全国出場枠について質問がある。

⇒全国高体連の規定では登録チーム数が200超であれば全国大会出場枠が2チームとなっている。バレーボールは現在、女子が196チーム、男子が117チームであるため平成30年度までは2チームであるが、このままであると平成31年度からは男女とも1チームになる。

③世界最終予選のラインジャッジが自費参加について質問がある。

⇒レフリーで明井氏・村中氏が参加していることに加え、ラインジャッジで北海道から正岡氏、小瀧氏、上総氏が参加している。これまでラインジャッジは各都道府県から参加しているが、今回は北海道のレベルを評価してもらっての参加であるものの自費で5日間行つてもらっている。

※組織委員会が旅費を出すべきだが、何らかの支弁も必要ではとの意見があった。

④日本体育協会スポーツ指導員講習の開催について質問がある。

⇒本年度はクラブ連盟の主催で開催することとしており、決定次第道協会HPで申込み受付する予定である。また、6月中旬から日本クラブ連盟のHPに掲載する予定である。

## 7 閉会

【第2回理事会：9月24日（土）北海きたえーる】

議事録署名人

会長

近藤 龍夫



議事録署名人

奈良孝伸



議事録署名人

木曾 康一

